



2024年4月25日

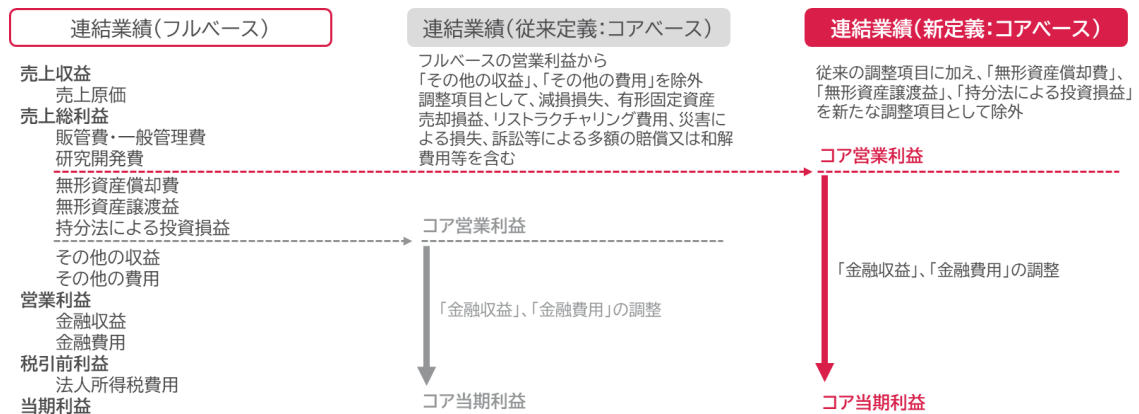
各位

会社名 アステラス製薬株式会社
 代表取締役社長 CEO 岡村 直樹
 (コード:4503、東証プライム)
 (URL <https://www.astellas.com/jp/>)
 決算期 3月
 問い合わせ先 チーフコミュニケーションズ&IR オフィサー
 池田 博光
 (Tel:03-3244-3201)

コアベースの業績の定義変更について

アステラス製薬株式会社(本社:東京、以下「アステラス製薬」)は、2025年3月期以降、連結財務諸表におけるコアベースの業績の定義を変更することを、本日開催の取締役会にて決議しました。

アステラス製薬では、2014年3月期から連結財務諸表について国際会計基準(International Financial Reporting Standards:IFRS)を適用しており、コアベースの業績を開示しています。2025年3月期以降は、コアベースの業績の定義を変更し、フルベースの業績から新たに無形資産償却費、無形資産譲渡益、持分法による投資損益を当社が定める特定の重要な調整項目として、除外します。



【新たなコアベースの業績の定義】

当社は、当社の収益力を示す指標としてコアベースの業績を開示しています。当該コアベースの業績は、フルベースの業績から当社が定めた特定の重要な調整項目を除外したものです。調整項目には、無形資産償却費、無形資産譲渡益、持分法による投資損益、

減損損失、有形固定資産売却損益、リストラクチャリング費用、災害による損失、訴訟等による多額の賠償又は和解費用等のほか、会社が除外すべきと判断する項目が含まれます。

【変更の背景】

Iveric Bio 買収に伴い、無形資産償却費が大幅に増加し、従来の定義ではアステラス製薬の収益力を適切に表すことができず、業績の推移や他社との比較が分かりづらい状況にありました。新定義のコアベースは、アステラス製薬の収益力をより適切に示す指標となり、グローバル製薬企業との比較を容易にします。

以上

アステラス製薬株式会社について

アステラス製薬は、世界 70 カ国以上で事業活動を展開している製薬企業です。最先端のバイオロジーやモダリティ／テクノロジーの組み合わせを駆使し、アンメットメディカルニーズの高い疾患に対する革新的な医薬品の創出に取り組んでいます(Focus Area アプローチ)。さらに、医療用医薬品(Rx)事業で培った強みをベースに、最先端の医療技術と異分野のパートナーの技術を融合した製品やサービス(Rx+[®])の創出にも挑戦しています。アステラス製薬は、変化する医療の最先端に立ち、科学の進歩を患者さんの「価値」に変えていきます。アステラス製薬の詳細については、(<https://www.astellas.com/jp/>)をご覧ください。

注意事項

このプレスリリースに記載されている現在の計画、予想、戦略、想定に関する記述およびその他の過去の事実ではない記述は、アステラス製薬の業績等に関する将来の見通しです。これらの記述は経営陣の現在入手可能な情報に基づく見積りや想定によるものであり、既知および未知のリスクと不確実な要素を含んでいます。さまざまな要因によって、これら将来の見通しは実際の結果と大きく異なる可能性があります。その要因としては、(i)医薬品市場における事業環境の変化および関係法規制の改正、(ii)為替レートの変動、(iii)新製品発売の遅延、(iv)新製品および既存品の販売活動において期待した成果を得られない可能性、(v)競争力のある新薬を継続的に生み出すことができない可能性、(vi)第三者による知的財産の侵害等がありますが、これらに限定されるものではありません。また、このプレスリリースに含まれている医薬品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。